

医療についての意見

(田中 孝子 氏)

○医療費の高騰と医師不足の問題に対処します。

1. 公立病院での最も大きな問題は赤字経営です。その結果、適正に医師を雇うことができず、特にへき地医療、救急医療、小児医療などは公立病院が主に担っているため医師不足が深刻です。

これを解決するために、民間病院や企業の力を借りたいと考えます。赤字の公立病院に民間病院や企業の経営手法を取り入れます。そのために病院のトップに医師ではない経営の専門家が就任できるように法制度を改めるということもします。

また、生駒市民病院（仮称）のように「指定管理者制度」を採用して、民間の力を借りるという方法もあります。

赤字病院が黒字化することで、もっと医師の数を増やすこともできますし、患者のニーズにあったサービスを提供することもできます。

2. 病院の赤字の原因として、国の診療報酬制度で価格が一律化されているという問題があります。

これは「公定価格」で統一されている戦時中の配給制度とまったく同じです。いいサービスをすれば、高い値段がつくというのは当たり前のことなので、医療サービスの価格にもある程度自由化されるべきと考えます。この面での規制緩和も重要です。

3. 医師不足に対応するために、医師法を改正します。現在、医師の国家資格をもっていないと法律上やってはいけない医療行為が多く、医療サービスを提供する上で規制となり、医師不足を招いております。看護師などの医師資格を持っていない者でも、可能な医療行為を認めて、規制を緩和し医師不足を解消します。